



2023年11月20日

報道関係各位

大和物流株式会社  
代表取締役社長 木下健治  
大阪市西区阿波座一丁目5番16号

## 「(仮称) 鹿児島臨空物流センター」の開発 および霧島市との立地協定締結のお知らせ

大和ハウスグループの大和物流株式会社（本社：大阪市 西区、社長：木下健治）は、鹿児島県霧島市において、物流施設「(仮称) 鹿児島臨空物流センター」（以下、本センター）の開発を決定しました。

また、本センターの開発決定に伴い、2023年11月14日、霧島市と霧島市鹿児島臨空工業団地における立地協定を締結しましたので、併せてお知らせします。



【(仮称) 鹿児島臨空物流センター 完成予想図】

## 1. 本センター開設の目的

当社はこれまで九州エリアにおいて、九州全域をカバーする物流拠点として「福岡物流センター」（福岡県糟屋郡）と「鳥栖物流センター」（佐賀県鳥栖市）を、二次配送拠点として「鹿児島営業所」（鹿児島県霧島市）を運営してきました。

しかし「2024年問題」によりドライバーの時間外労働に上限規制が適用され、従来のような長距離輸配送ができなくなることから、今後南九州エリアにおいて在庫二次配送拠点の需要が高まるとして、本センターを開設することとしました。

## 2. 本センターの特長

### (1) 九州南部の広域配送を担う好立地

本センターは、九州の主要高速道路である九州縦貫自動車道「溝辺鹿児島空港インターチェンジ」から約950mの距離にあるため、九州南部の広域物流拠点として鹿児島県・宮崎県・熊本県への配送に適した立地です。



【周辺地図】



【九州全域図】

## (2) ハイブリッドバス、幅広い荷物に対応

本センターは高床式と低床式の両方のバスを備えており、さまざまな荷物・荷役方法に合わせて効率的に入出庫作業ができる施設仕様です。

### 3. 立地協定の締結について

#### (1) 立地協定の締結

当社は、霧島市と霧島市鹿児島臨空工業団地における立地協定を締結しました。本センターを開設することで、地域における雇用創出や物流の効率化などを通じて、地域経済の活性化に寄与することを目指します。

#### (2) 調印式概要

立地協定の締結にあたって、鹿児島県立ち合いのもと 11 月 14 日に霧島市で調印式を執り行いました。

<協定内容（一部抜粋）>

- ・当社は、霧島市に事業所を事業所建設計画に基づき設置することについて合意し、霧島市は開発が円滑に行われるよう協力するものとする
- ・当社は、地域振興の観点に立って、従業員については地元からの優先的な雇用に努力し、霧島市は従業員確保について協力するものとする

<出席者>

鹿児島県：鹿児島県始良・伊佐地域振興局総務企画部長ほか

霧島市：市長、副市長、市議会議長、商工観光部長ほか

大和物流：代表取締役社長、九州地区リーダー、鹿児島営業所長ほか



【調印式の様子】

(左から鹿児島県始良・伊佐地域振興局 部長 八反田ひろみ氏、当社社長 木下健治、霧島市長 中重真一氏、霧島市議会 議長 阿多己清氏)

#### 4. 施設概要

名称	大和物流株式会社「(仮称) 鹿児島臨空物流センター」
所在地	鹿児島県霧島市溝辺町麓字山神 321-10 ほか
敷地面積	18,972.31 m <sup>2</sup> (5,739.12 坪)
延床面積	19,074.00 m <sup>2</sup> (5,769.89 坪)
構造	鉄骨造 地上 2 階建て
バース形状	西面：高床式／北面：低床式
床荷重	1 階：2.0t/m <sup>2</sup> 、2 階：1.5t/m <sup>2</sup>
搬送設備	荷物用エレベーター 4.6t：1 基、3.6t：2 基 垂直搬送機 1.8t：1 基、1.5t：1 基
環境設備	全館 LED 照明導入 ソーラーパネル敷設（※容量未定）
アクセス	九州縦貫自動車道「溝辺鹿児島空港インターチェンジ」から約 950m
着工（開発）	2023 年 12 月 15 日予定
着工（本体）	2024 年 4 月 1 日予定
竣工	2025 年 4 月 30 日予定
稼働	2025 年 5 月 1 日予定
施主	大和物流株式会社
設計・施工	大和ハウス工業株式会社
運営	大和物流株式会社
物流センターURL	<a href="https://www.daiwabutsuryu.co.jp/center/kagoshima-rinku">https://www.daiwabutsuryu.co.jp/center/kagoshima-rinku</a>

#### ●大和物流について

当社は 1959 年に大和ハウス工業株式会社の物流子会社として設立し、今年で創立 64 年を迎えます。建築・建材物流をコア事業とした総合物流業のほか、お客さまのニーズに合わせた物流施設開発を全国で進め、現在、自社で管理・運営する物流施設は、国内 105 ヲ所・総延床面積約 38.4 万坪<sup>※1</sup>に上ります。また、ベトナムの現地法人を軸にグローバルへの展開も積極的に進めています。

※1. 2023 年 10 月末時点

以 上

お問い合わせ先	
大和物流株式会社 経営企画部	TEL : 06-4968-6372 E-MAIL : <a href="mailto:pr.ml@daiwabutsuryu.co.jp">pr.ml@daiwabutsuryu.co.jp</a>